

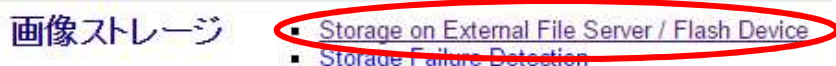
# MOBOTIX 録画設定 (Recording Settings)

## STEP 1 録画保存先設定

1. カメラ画面の左上にある「Admin Menu」をクリックしてください。



3. 画像ストレージの「Storage on External File Server / Flash Device」を開きます。



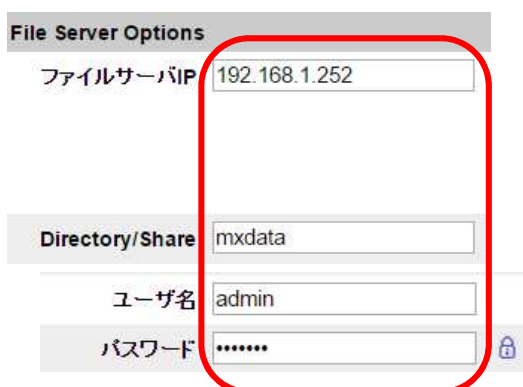
4. ページ右下に「一部」のボタンがあることを確認します。「全体」の場合は、クリックして画面表示を全体に切り替えます。

5. 「Storage Target」 「Primary Target」で録画保存先を設定します。



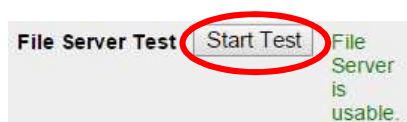
- None : 外部ストレージを使用しません
- NFS File Server : 主にUNIX/Linuxファイルサーバで使用します
- SMB/CIFS File Server : 主にWindowsファイルサーバ/NAS、Sambaで運用するUNIX/Linuxファイルサーバで使用します
- SD Flash Card : カメラ内蔵のSDカードを使用します

6. 録画保存先をファイルサーバに指定した場合、File Server Optionsにファイルサーバ情報を入力します。



- ファイルサーバIP : 画像保存するファイルサーバ/NASのIPアドレス
- Remote Directory/Share : 画像保存するファイルサーバ/NAS内の共有フォルダ名
- ユーザ名 : 共有フォルダにアクセスする際のファイルサーバ/NASのユーザ名
- パスワード : 共有フォルダにアクセスする際のファイルサーバユーザ/NASのパスワード

7. 「File Server Test」の「Start Test」を選択し、ファイルサーバーに接続できることを確認します。



成功

File Server is not usable.

失敗

設定項目を再確認してください

8. 「Storage Limits」でファイルサーバーの録画容量を設定します。

- 保存期間：保存したい最大期間 or 無制限
- StorageSize：  
ファイルサーバ/NASの容量にあわせて設定
- Reserve Storage：  
一時的な追加サーバースペース
- Number of sequences：  
保存したい最大シーケンス数 or 無制限

### Caution!

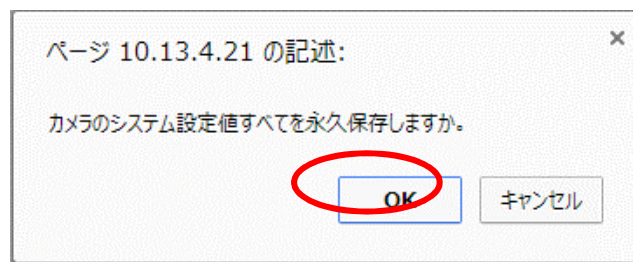
複数台カメラを接続する場合は、必ずすべてのカメラで使用する容量が、ファイルサーバ容量を超えないように設定します。  
ファイルサーバ/NASを安定させるため、容量制限にゆとりを持って設定します。

2.0TBのファイルサーバでRAID5運用の場合、実際に使用できるのは約1500GBになります。しかし、その1500GBにさらに余裕を持たせるため、実質カメラの画像保存として使用できる最大容量をトータルで1200GB程度(全体の6割程度)に設定することをお勧めします。

→「Storage Size」、「保存期間」、「Number of sequences」は、それぞれの指定した数値に達した場合、カメラは上書き保存をしていきます。複数選択した場合は、一番初めに到達した項目を優先して上書き保存を開始します。\*必ず「Storage Size」は設定します。

9. ページ下部の「設定」をクリック後、「閉じる」をクリックします。

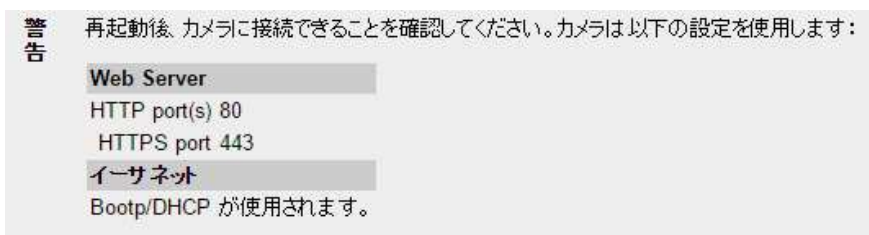
10. 「OK」を選択して、永久保存してください。



11. Admin Menuから再起動のページを開きます。

全体操作 **再起動** カメラを再起動します。

12. 「再起動」をクリックし、再起動を行います。

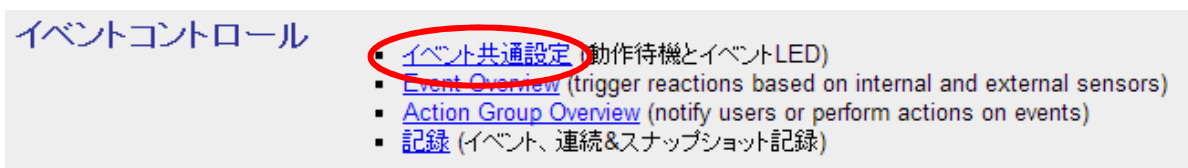


## STEP 2 録画の設定

1. カメラ画面の左上にある「Setup Menu」をクリックしてください。



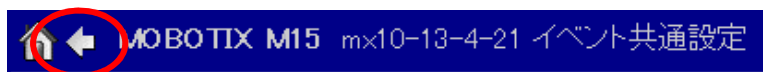
2. イベントコントロールの「イベント共通設定」を選択してください。



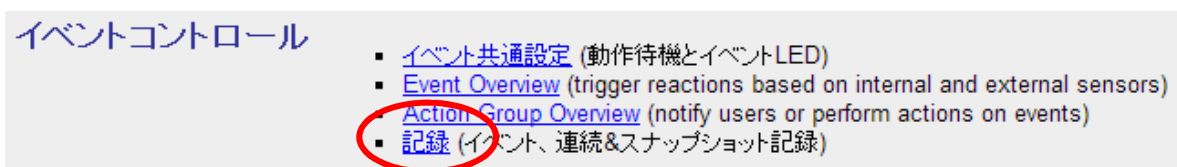
3. 動作待機「Enabled」を選択してください。



4. ページ下の「設定」ボタンをクリックし、「←」ボタンより前の画面に戻ってください。



5. イベントコントロールの「記録」を選択してください。

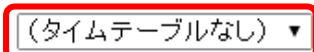


6. 動作待機「Enabled」を選択してください。

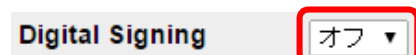


7. 必要に応じて下記の項目を設定します。

- タイムテーブル : 記録を行う時間帯をスケジューリングします。  
\*別途タイムテーブルのマニュアルを参照

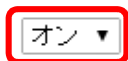


- Digital Signing : オンにした場合、Webサーバ機能のX.509 certificateを使用して、記録画像にデジタルサインします。



●Recording Status Symbol : オンにした場合、画像の右上に記録ステータス表示を行います。

Recording Status Symbol



記録中 : 赤



記録無中 : 黄

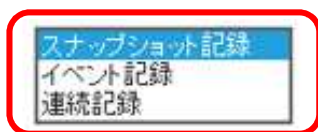


●記録停止(TR) : オンにした場合、イベントを選択することができ、そのイベントが発生するとカメラの記録は停止します。再び記録を開始したい場合は、右説明文の [記録を再開するにはここをクリックします。](#) をクリックします。

8. 記録方法の設定を行います。

記録機能 : スナップショット記録 / イベント記録 / 連続記録 から選択

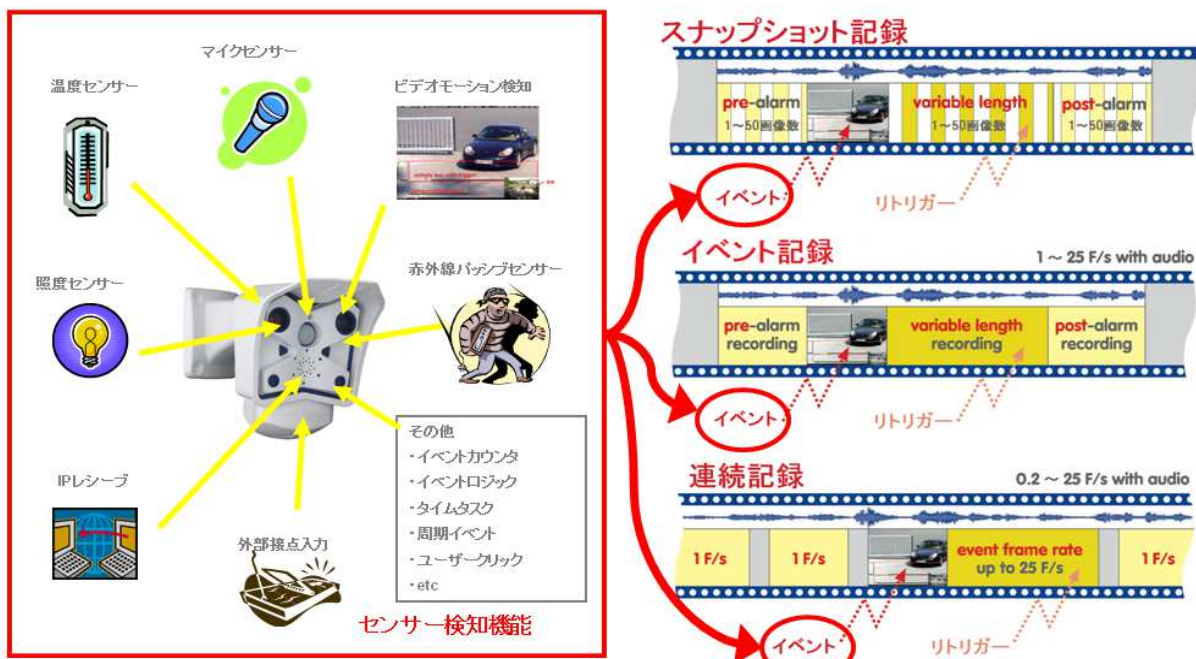
記録 (REC)



●スナップショット記録 : イベント発生の前?枚、後?枚をJPEG画像で保存します。9を参照

●イベント記録 : イベント発生の前?秒、後?秒をMxPEG動画で保存します。10を参照

●連続記録 : 連続で低フレームレート記録を行い、イベント発生後指定した高フレームレートに可変して保存します。11を参照



## 9. スナップショット記録の設定

| ストレージ設定  | Value       |
|----------|-------------|
| 記録 (REC) | スナップショット 記録 |

- イベント履歴パック : ✓マークを入れるとスナップショット記録でJPEG保存した1パックを、1つのクリップにまとめ、ファイルサーバのパフォーマンスを向上させることが可能です。

履歴パック

- 記録開始 : 記録を開始するイベントを選択します。1つ以上のイベントを有効にする場合は、「Ctrlキー」を押しながらクリックして複数選択します。記録開始したいイベントは、「Setup Menu→イベント設定」でイベントを有効にする必要があります。「select all」は有効なイベントすべてで、記録開始します。

記録開始

|                   |
|-------------------|
| (select all)      |
| (select none)     |
| -----             |
| (Environment: PI) |
| (Environment: MI) |

- スナップショット間隔 : JPEG画像保存する間隔を設定します。単位はミリ秒です。

1000

- アラーム前の画像数 : イベント発生前の画像保存枚数を選択します。

1

- アラーム後の画像数 : イベント発生後の画像保存枚数を選択します。

2

- 再トリガ記録 : イベント発生後、カメラが記録をしている最中に選択したイベントが発生した場合、延長してアラーム後の画像数で設定した画像数で保存します。

再トリガ記録

|                   |
|-------------------|
| (select all)      |
| (select none)     |
| -----             |
| (Environment: PI) |
| (Environment: MI) |

- 記録停止 : 選択したイベントが発生した場合、指定した枚数後、記録を停止します。

記録停止

|                   |
|-------------------|
| (select all)      |
| (select none)     |
| -----             |
| (Environment: PI) |
| (Environment: MI) |

- イベント停止後の画像 : 記録停止イベント発生後、スナップショット記録に追加する画像です。

1

- デッドタイムの記録 : 記録停止イベント発生後、新たに録画が開始するまでの時間です。

5

- 履歴記録(HR) : タイムタスクおよび周期イベント(PE)で指定した間隔で、JPEG静止画1枚を保存することが可能です。また、画像プロファイルによって、通常時の画像と違う画像サイズで保存できます。

履歴記録 (HR)

|       |
|-------|
| オフ    |
| ライブ画像 |

## 10. イベント記録の設定

| ストレージ設定  | Value    |
|----------|----------|
| 記録 (REC) | イベント記録 ▼ |

- オーディオデータの記録 : 音声付動画で保存することが可能です。

オーディオ含む ▼

- 記録開始 : 記録を開始するイベントを選択します。1つ以上のイベントを有効にする場合は、「Ctrlキー」を押しながらクリックして複数選択します。記録開始したいイベントは、「Setup Menu→イベント設定」でイベントを有効にする必要があります。「select all」は有効なイベントすべてで、記録開始します。

|      |  |
|------|--|
| 記録開始 | (select all)<br>(select none)<br>-----<br>(Environment: PI)<br>(Environment: MI) |
|------|--|

- イベントフレームレート : 保存する動画フレームレートを選択します。

最大 \$ImageFps\$ ▼

- イベント前の記録時間画像数 : イベント発生前の記録時間を選択します。

オフ ▼

- 記録時間 : イベント発生後の記録時間を選択します。

10 秒 ▼

- 再トリガ記録 : イベント発生後、カメラが記録をしている最中に選択したイベントが発生した場合、記録時間で設定した時間を延長録画します。

|        |  |
|--------|--|
| 再トリガ記録 | (select all)<br>(select none)<br>-----<br>(Environment: PI)<br>(Environment: MI) |
|--------|--|

- 記録停止 : 選択したイベントが発生した場合、指定した時間後、記録を停止します。

|      |  |
|------|--|
| 記録停止 | (select all)<br>(select none)<br>-----<br>(Environment: PI)<br>(Environment: MI) |
|------|--|

- イベント停止後の画像 : 記録停止イベント発生後、記録したストリームに追加する時間です。

1 ▼

- デッドタイムの記録: : 記録停止イベント発生後、新たに録画が開始するまでの時間です。

5

- 履歴記録(HR) : タイムタスクおよび周期イベント(PE)で指定した間隔で、JPEG静止画1枚を保存することが可能です。また、画像プロフィールによって、通常時の画像と違う画像サイズで保存できます。

|           |                     |
|-----------|---------------------|
| 履歴記録 (HR) | オフ ▼<br><br>ライブ画像 ▼ |
|-----------|---------------------|



## 11. 連続記録の設定

| ストレージ設定  | Value  |
|----------|--------|
| 記録 (REC) | 連続記録 ▼ |

- 連続記録のフレームレート : 連続記録の標準速度 (fps) です。

|         |
|---------|
| 1 fps ▼ |
|---------|

- オーディオデータの記録 : 音声付動画で保存することが可能です。

|           |
|-----------|
| オーディオ含む ▼ |
|-----------|

- 記録開始 : フレームレートを可変して記録を開始するイベントを選択します。1つ以上のイベントを有効にする場合は、「Ctrlキー」を押しながらクリックして複数選択します。記録開始したいイベントは、「Setup Menu→イベント設定」でイベントを有効にする必要があります。「(select all)」は有効なイベントすべてで、フレームレート可変記録を開始します。

|      |  |
|------|--|
| 記録開始 | (select all) ▼<br>(select none)<br>-----<br>(Environment: PI)<br>(Environment: MI) |
|------|--|

- イベントフレームレート : イベント可変したい動画フレームレートを選択します。

|                   |
|-------------------|
| 最大 \$ImageFps\$ ▼ |
|-------------------|

- 記録時間 : イベント発生後のフレームレート可変記録時間を選択します。

|        |
|--------|
| 10 秒 ▼ |
|--------|

- 再トリガ記録 : イベント発生後、カメラがフレームレート可変記録をしている最中に選択したイベントが発生した場合、記録時間で設定した時間をフレームレート可変記録の延長をします。

|        |  |
|--------|--|
| 再トリガ記録 | (select all) ▼<br>(select none)<br>-----<br>(Environment: PI)<br>(Environment: MI) |
|--------|--|

- 記録停止 : 選択したイベントが発生した場合、指定した時間後、記録を停止します。

|      |  |
|------|--|
| 記録停止 | (select all) ▼<br>(select none)<br>-----<br>(Environment: PI)<br>(Environment: MI) |
|------|--|

- イベント停止後の画像 : 記録停止イベント発生後、記録したストリームに追加する時間です。

|     |
|-----|
| 1 ▼ |
|-----|

- デッドタイムの記録 : 記録停止イベント発生後、新たに録画が開始するまでの時間です。

|   |
|---|
| 5 |
|---|

- 履歴記録(HR) : タイムタスクおよび周期イベント(PE)で指定した間隔で、JPEG静止画1枚を保存することが可能です。また、画像プロファイルによって、通常時の画像と違う画像サイズで保存できます。

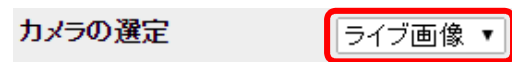
|           |                 |
|-----------|-----------------|
| 履歴記録 (HR) | オフ ▼<br>ライブ画像 ▼ |
|-----------|-----------------|

## 12. Full Image Recordingの設定

- Full Image Recording : オンにした場合、カメラのデジタルズーム/パン/チルト操作を行い、拡大表示していても、カメラは常にフル画像で記録を行います。



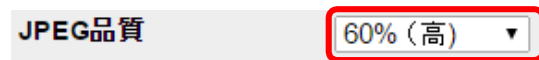
- カメラの選定 : 2眼カメラの場合、録画するカメラを選択することができます。



- 画像のサイズ : 画像のサイズを選択します。



- JPEG品質 : 画像の品質を選択します。



- テキスト表示 : カメラ画像に日付と時間を表示させたい場合、テキスト表示で日付と時間を選択し、日付と時間の表示形式を選択します。

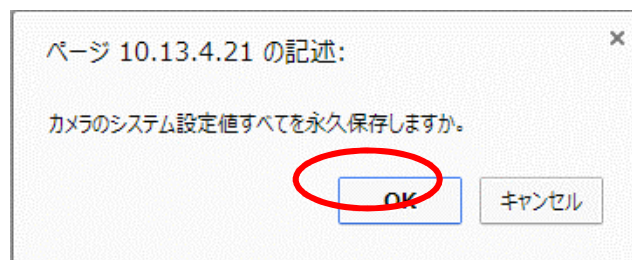
カメラ画像にコメントを表示させたい場合、テキスト表示をオンにし、コメント欄に表示させたい文言を記載します。

テキスト表示



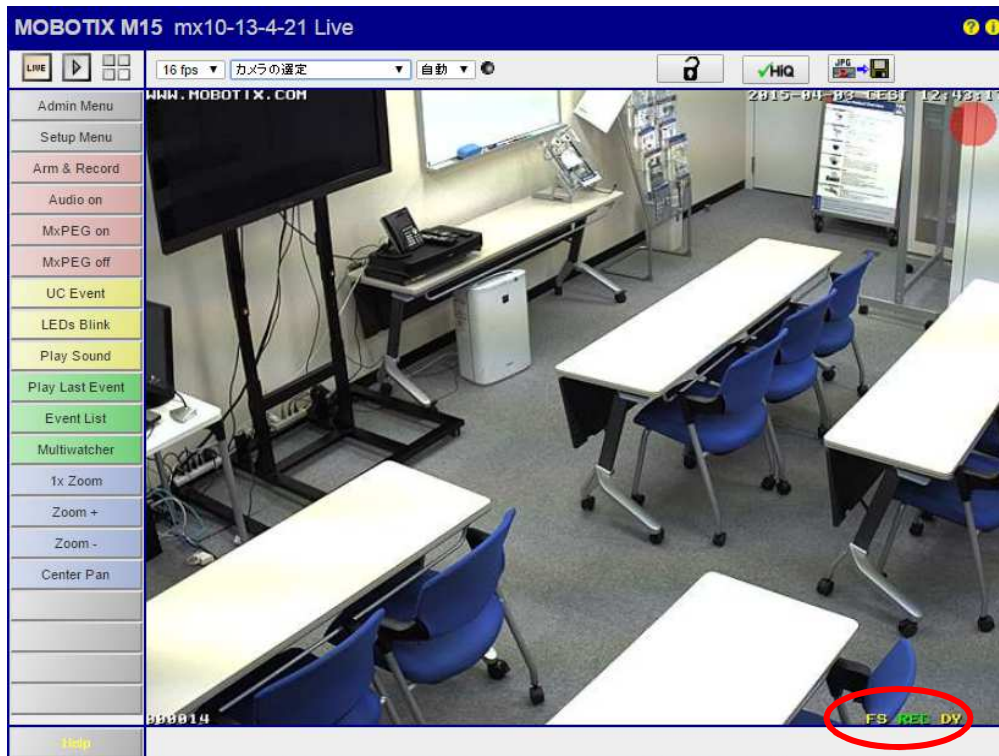
13. ページ下部の「設定」をクリック後、「閉じる」をクリックします。

14. 「OK」を選択して、永久保存してください。





15. 最後に、カメラ画像の右下のステータス表示を確認します。



**FS** or **FS** : ファイルサーバのマウント状態を表示しています。

**黄**の場合、は正常にマウント中です。  
**赤**の場合、マウントに失敗しています。今一度、画像ストレージの設定とファイルサーバの設定を見直してください。

**REC** or **REC** or **REC** : 録画の状態を表示しています。

**黄**はスナップショット記録もしくはイベント記録で記録していない状態です。  
**緑**は連続記録で通常フレームレートで記録中です。  
**青**はイベント発生後の記録中(スナップショット記録もしくはイベント記録)およびフレームレート可変記録中(連続記録)を示しています。